



## news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成 23 年 2 月期第 3 四半期決算概況  
営業収益 270 億 83 百万円、経常利益 11 億 87 百万円、四半期純利益 10 億 60 百万円

※当社は、第 1 四半期より個別財務諸表のみ作成しております。前年同期の比較対象としては、前第 3 四半期連結財務諸表数値を使用しております。

ポケットカード株式会社(8519)の平成 23 年 2 月期第 3 四半期決算は、割賦購入あっせん部門及びプロセッシング部門が順調に推移したものの、貸金業法の完全施行に伴う総量規制の実施により、融資部門においてキャッシング取扱高並びに残高が減少した結果、営業収益全体では 270 億 83 百万円(前年同期比 $\Delta$ 4.3%減)となりました。

費用面では、経営改善計画を柱とした全社的な業務効率化、コスト削減を着実に実行したことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用は 258 億 93 百万円(前年同期比 $\Delta$ 14.2%減)と減少しました。

これらの結果、営業利益は 11 億 90 百万円、経常利益は 11 億 87 百万円、四半期純利益は 10 億 60 百万円となりました。

割賦購入あっせん部門につきましては、日常支出におけるクレジットカード決済の浸透や個人消費の持ち直し等を背景にショッピング取扱高が 2,114 億 67 百万円(前年同期比 4.0%増)と堅調に推移したことに加え、リボ専用カードの獲得推進をはじめとした各種取り組みの強化によりショッピングリボ残高が 359 億 75 百万円(前年同期比 17.8%増)と増加した結果、営業収益は前年同期に比べ 8 億 27 百万円増加の 71 億 99 百万円(前年同期比 13.0%増)となりました。

プロセッシング部門につきましては、保証債務残高が 511 億 33 百万円(前年同期比 28.5%増)と順調に拡大したことにより、営業収益は前年同期に比べ 9 億 25 百万円増加の 35 億 19 百万円(前年同期比 35.7%増)となりました。

一方、融資部門につきましては、貸金業法の完全施行に伴う総量規制の実施により、キャッシング取扱高並びに残高が減少した結果、営業収益は前年同期に比べ 32 億 51 百万円減少の 152 億 26 百万円(前年同期比 $\Delta$ 17.6%減)となりました。

以上の結果、営業収益全体では 270 億 83 百万円(前年同期比 $\Delta$ 4.3%減)となりました。

営業費用につきましては、経営改善計画を柱とした全社的な業務効率化、コスト削減を着実に実行したことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用全体では 258 億 93 百万円(前年同期比 $\Delta$ 14.2%減)となりました。

以上の結果、営業利益は 11 億 90 百万円、経常利益は 11 億 87 百万円、四半期純利益は 10 億 60 百万円となりました。

【単位：百万円】

|                         | 営業収益          | 営業利益           | 経常利益           | 四半期純利益         |
|-------------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 平成 23 年 2 月期<br>第 3 四半期 | 27,083        | 1,190          | 1,187          | 1,060          |
| 平成 22 年 2 月期<br>第 3 四半期 | 28,313        | $\Delta$ 1,861 | $\Delta$ 1,864 | $\Delta$ 1,126 |
| 前年同期比                   | $\Delta$ 4.3% | —              | —              | —              |

以上